

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)
 (項目5, 7, 8, 9, 14, 15は評価重点項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>人との関係を大切にしたいと考えています。ホームとして「和を大切にする」を掲げています。利用者に関係するすべての方から協力して頂き、人権やその人らしさを大切にしたいと考えます。</p>	<p>皆が意識しやすいものや、成果が残せるものなどを検討していきたいと思います。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>各自の役割を分担しながら、業務を行っています。また、業務が重なるなど大変な時にはお互いに助け合い、チームワークでカバーできるように心掛けています。</p>	<p>理念の内容をミーティングなどで定期的に話をしていくことで、振り返りの機会を作りたいと思います。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>パンフレットや家族宛の新聞にも載せて、理解を得られるように説明しております。</p>	<p>回覧板などを活用して、周知していきます。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩の方が立ち寄るようになって来ましたが、隣近所の方とは挨拶を交わす程度の付き合いに留まっております。</p>	<p>積極的に行き来できるように、お祭りなどの行事を企画していきたいと思います。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域のお祭りでは神楽に来てもらい、参加に努めております。また、地域のコミセンにボランティアの踊りを依頼しております。</p>	<p>昨年秋に自治会に参加して、ホームの紹介を行いました。それ以降関わりがなくなりました。地元の人々と交流が図れるようにしていきたいと思います。回覧版の活用を検討しております。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者に還元できるような取り組みはまだできておりません。		認知症のケア講習会ができるように今後取り組んでいきたいと思えます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各自で項目を分担しながら、自己評価を記入し、その後ユニット間で話し合いを行っております。各自で意識してもらい、チームとして取り組む姿勢を持つことができます。		見直しをしていくことで、気が付かなかったことに目を向け、できることにつなげていきます。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年秋に実施してから滞っております。年内に一度、開催をしていきます。		家族や外部の方から話を伺うことで、ホームや介護保険を取り巻く話ができ、情報交換の場となっております。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所とは相談しながら進めることもあります。ただし、特別なことがない限り、話し合う機会は設けておりません。		サービスの質の向上について今後は保険者からの意見を聞く機会と、他GHとの意見交換ができる機会を設けていきたいと思えます。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度について、必要な学習や知識が不足しております。学ぶ機会に積極的に参加していきます。		権利擁護についての研修会に参加していきます。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての研修会に参加しております。ホーム内でも、全員で注意して、虐待防止に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に関しては、特に問題として上がることが予想される金銭や事故などについても理解してもらえるように努めています。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者からの声は、皆で共有して改善に繋がるようにしております。また、管理者も直接聞いていくことで問題の解決に取り組んでいます。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に日頃の様子を伝えたり、担当者からの手紙を定期的に発送しており、暮らしぶりや健康状態をお伝えしております。また、転倒や体調不良があった場合は、早急に連絡を取っております。</p>	<p>職員の異動については、お知らせはしておりませんが、玄関やホールに職員の写真と名前を張りだすことで、認知してもらえるように考えています。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族から直接聞いたことも報告して改善につなげられるように話し合いをしております。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>個別面談や普段から話を聞くようにしております。</p>	<p>今ある現状より少しでも良くなるように、今後も様々な取り組みをしていきたいと考えます。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>受診や外出などが重ならないように調整しています。また、業務上では、休憩時間の変更や応援職員による体制でカバーしております。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係を大切にして、ユニット間の異動は最小限度にしております。</p>	
18-2	<p>マニュアルの整備</p> <p>サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。</p>	<p>サービスの水準確保の為に各種マニュアルの整備に努めております。</p>	<p>今あるマニュアルを再度見直していきたいと思います。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている</p>	<p>社内の研修が本社巡回という形で、定期的実施されており、職員は参加しております。また、学んだ内容は事業所に戻ってからも、伝達研修で参加した職員から報告会を行っております。</p>	<p>認知症実践者研修など外部の研修会にも積極的に参加しております。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の研修会に参加した際に、交流を持つことはあります。ただし、積極的に訪問するなどの活動はしていません。</p>	<p>同業者と交流を持つ機会があれば、参加をしていきます。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>地域振興局主催のストレス回避研修会を予定しており、またメンタルヘルスの電話相談のポスターも掲示しております。話し合いの場を持つようにしています。</p>	<p>ミーティングで一人ひとりが意見や発表をする場を持ち、業務内容で不明な点などはみんなで相談して、決めるようにしています。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>業務の評価を行い、契約内容の見直しをしております。また、研修の機会を多く持ち向上心を損なわないように取り組んでいます。</p>	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前面接に本人の希望や話をよく聞いて、気持ちを受け止めるようにしています。</p>	<p>家族からの申し込みで、本人の意思とズレが生じている場合があり、難しい場合があります。それでも、ひとつの方法としてホーム利用があり、本人が望む形に近づけるように努力しています。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>電話相談時にすぐに入居受入れが難しい場合もあるが、話を受け止めるようにしています。利用が開始されるまで、連絡を密に取りながら、負担軽減が図れるようにしています。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅生活の継続を含めて、本人に確認しています。また、ホームとしてできることを説明しています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が見学に来られてから、サービスを開始する方もいます。体験利用でお試し利用をされる方もいます。		施設からホームに移られる方の多くは、入居日に初めてホームに来て開始しております。見学を進めるなど、慣れていただく方法を取り入れていきたいと思えます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	1対1で会話することで会話を楽しんだり、心配事があるときは話を聞いたりしている。		すべて職員がやってしまうのではなく、利用者と共に作業したりすることを心掛けています。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の意向を確認しています。また、本人の要望もお伝えし、相談したり、報告をすることで日頃の様子を伝え、共に取り組んでいく姿勢でいます。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	生活歴を把握して、訪問時にはゆっくりと落ち着いた環境を作り出すように配慮している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	かかりつけの医院、行きつけの美容院に出掛けている。しかし、利用者さんが住んでいた近所の人達、友人との関係が途切れないような支援まではできていない。		利用者さんの馴染みの環境、関係を途切れさせないように御家族と連携を取りながら、努めていきたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が談話していることで自然に落ち着かれている様子が見られています。利用者一人ひとりが役割を持つことでお互いの関係を保っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	こちらから働きかけることはしていないが、求めには応じていきたい気持ちを持っています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	居室はたたみ、フローリングを選んでもらい、布団やベッドなどその方に合わせたものを用意してもらっています。テレビやキーボードなど好きなものをお部屋に置いています。意向の表出が困難な方には、安全性を重視しながら、少しでも意向に沿うように努めています。		個々の趣向に合わせて、植物の栽培や音楽、家庭的な仕事を続けてもらいたい。余裕をもちながら、その人に合わせたケアをしていきたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家事、栽培、工作など今までやってきたことに、動機づけ実施している。畑、買い物など好きなものができるように支援している。		生活歴を更に知ることで、手芸や縫い物をされたり、外に出れる生活を増やしていきたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりのペースに合わせて見守るようにしている。得意なことやできることは一緒に行っています。毎日のバイタル測定、入浴時の皮膚状態の観察を行っています。		もう少し一人ひとりの能力を見出して、可能性を広げていきたいと思います。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	現場からの気付きや本人の言葉を大切にしており、その人の今を反映していると思います。		本人、家族の意見を反映させていきたいと思います。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	早めに話し合いを行い、目の前の課題に柔軟に取り組んでいます。		早急に話し合ったことを計画に載せていきたいと思いません。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録には日常の様子や変化についてはこまめに記録に残しております。特に重要性が高い場合は、業務日誌に記入して情報の共有化を図っています。		こまめに介護計画にも反映させていきたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の方に代わって通院を行うと共に、家族と共同しながら分担を行っています。自宅訪問や施設、病院面会に職員も付き添うことで、分担し、家族の役割も大切にしながら、支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域資源としては、外出時に建物の使用をすることはあるが、民生委員やボランティアの活用はなされていない。ボランティアの申し出により、受入れは行いが、一方的な関わりがあり、必要性までには至らないことがありました。		本人の意向に合わせて、外部との関わりを持つようにしていきたい。10月中に園児の訪問を予定しております。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の他のサービスを利用することはありません。ただし、必要に応じて、支援していけるようにしていきます。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの関わりは薄く、今後は連携に努めていく必要があります。市の生活支援を利用している方もいるので、家族と本人から、意向を確認できればよいと思います。		地域包括支援センターに連絡して、いつでも相談できる関係を築いていけるようにしていきたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ほとんどの利用者は慣れ親しんだかかりつけ医を継続をされています。また、適切な医療が受けられるように、認知症の専門医などの診療も受けております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に関する診断や治療が必要な方には、御家族と相談して受診をしております。そのほかの方は、内科受診が中心ですが、必要時に応じていきます。		内科受診がほとんどのため、専門的な治療が行えていない方もいます。家族と相談しながら、専門医へ相談していききたいと思います。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師の配置はしておりません。特変時にはかかりつけ医に連絡を取り、連携に努めております。		月1回程度の定期受診を利用者は全員受けております。日頃のちょっとした変化の際に、相談できるように地域の看護職と連絡が取れるようにしていきたい。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時にはサマリーを提供して、ホームでの生活状況を伝えていきます。情報交換もしております。面会も定期的に行いながら、家族や病院関係者と常に話し合いをしております。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期における御家族の希望を伺うようにしております。病院関係者と家族と相談しながら、ホームとしてできることを話しております。また、ホームにおいても、職員の意見を出してもらい、意識統一を図るようにしております。		本人と家族の希望があった場合に、看取りのケアができるようにしていきたい。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	糖尿病の方の場合、医療行為をしなくてもいいように、病院や家族と話し合い、内服薬による治療を行っております。		ホームでの生活がその人にとって慣れ親しんだふさわしい場所であるならば、できるだけ長く生活してもらい、病院からも戻ってこれる場所にしていきたい。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ホームでの生活が分かるように情報提供書を作成して、引き継ぐ先に提供しております。		本人の混乱や不安を避ける為に十分な配慮はしております。ただし、十分に納得のいく説明は出来ていないため、みんなで検討をしていく必要があります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>更衣など扉を閉めたり、ロックや声掛けをして居室に入りにしている。その人その人の仕事の役割を決めて、混乱のないようにしている。また、事務所で記録を行い、本人様が気にならないようにして、保管しています。</p>	<p>他の利用者様の間にスタッフが入り、互いが心地よく生活してもらいたい。個々の対応を大切にする。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>個々の個性を知った上で希望を受け入れたり、表せない方にも行って喜んでもらえること(入浴、外出)を考慮して声かけ働きかけている。</p>	<p>もっと個人の心理の奥を知り、受け入れていきたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々の生活のリズムやペースを乱さないように声かけを行っている。</p>	<p>利用者中心に考慮し、スタッフの心に余裕をもって業務を行っていきたい。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人の希望時、表現の難しい方はスタッフの声かけで理美容に出かける。入浴後、起床後はヘアセット、衣類も本人の希望に合わせている。馴染みの美容室に出かけています。外出を好まない方や天候に合わせて、訪問理容も利用しています。</p>	<p>もっと服や下着など本人と買い物に行けると嗜好に合わせて、買い物の満足感が味わえると思う。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>出来る方には料理を手伝ってもらったり、配膳を利用者にして頂いている。苦手な食べ物を把握している。食事をゆっくりと食べてもらえるように職員も余裕をもつようにしている。調理場で出来る方、ホールの自席で出来る方などその人の能力ややりやすい方法で日常的に調理の準備をしています。</p>	<p>糖尿病の方にも合わせて、食事を考慮している。利用者の嗜好を聞く。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>入浴後、夜間のトイレ起床時など希望の飲み物を出すようにしている。お茶の時間に食べたいおやつを一緒に買出しに出かけている。お酒やたばこを好む方はいませんが、大晦日などでは本人様に希望を聞くようにしています。自室でお菓子を保管している方も、時々職員が確認しています。また、ホームで管理の必要な方には、声掛けをしています。</p>	<p>家族の方からの差し入れを居室で召し上がっている方もいる。生ものや咀嚼が心配な方はホーム側で預かり、希望時に提供している。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	失禁があったりしても他の方が気付かぬように声かけしている。夜間失禁がある方はトイレ誘導をしている。排泄の失敗によって、本人の精神的な負担が大きならないように配慮しています。		日中もトイレの間隔があいている方にはトイレ誘導をしている。常に排泄に関しては、本人が気にされることであり、注意していきます。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	以前は入浴希望の強い方が毎日入っていたが皆が均等に入れるように声掛けをしている。入浴の拒否がある方は清拭を行っている。入浴日は決めずに行っています。入浴の機会を大切に本人から希望を伺いながら支援しています。		入浴中は1対1になるので、会話を楽しんだりしてゆっくり入って頂く様にしている。夕方の入浴希望があれば、対応していきたい。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ホールで傾眠している方には、声かけをして、入床してもらったり、畳スペースにて休んだりして頂く様にしている。必要以上に促すことはせずに、休みたい時に休めるように任せる気持ちでいます。		居室の温度調節に気をつけて、気持ちよく休んでもらえるように心掛けています。眠前内服薬もテレビ視聴をしていれば、時間をずらして服用している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとり自由に過ごす時間があり、居室に自分の好きなものを置いたりして楽しめるようにしている。調理などの家事を協力しながら行っています。		昔の話を聞いて生活してきた中で、得意なことを知り、一緒に行ったりする。料理や裁縫、畑に出かけることも働きかけてみる。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持できるように取り組んでいたが、個人で管理することが難しく、ホームで預かるようにしている。		所持金はホームで預かっている。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	当日の予定の中で希望を取り入れるように努力しています。買い物や外出時に声をかけて、機会を多く持つようにしている。		外出ができないときは南側に出かけたり、窓側にイスを置き、外を眺めてもらうようにもしている。日常的な支援ができるようにしていきたいと思います。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お墓参りに出掛ける。誕生日にはその人の希望に合わせて、個別に外出など出掛けています。		スタッフとの外出も温泉や喫茶店、海や自宅であったりと取り組んでいます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	母の日のプレゼントが届いた時など、お礼の電話や手紙を出しています。		塗り絵をした時の絵や絵手紙などをふれあい新聞に同封して送るようにしていきたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者の方は温かく迎えるようにしている。帰るときも玄関まで見送りを利用者様と共に行い、感謝の気持ちをお伝えする。		食事前の訪問は忙しい時間帯であり、心からの対応ができない場合がある。余裕が作れるようにチームで声を掛け合い、対応が取れるようにしたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないようにチーム全体で取り組んでいます。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はカギをかけずにいつでも外に行くことができている。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守り、気配りを協力しながら行い、所在の把握に努めています。		非常口から外に出ようとされる場合があり、危険を知らせる鈴や張り紙などで促していますが、今後も注意して見守りを行います。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	台所や洗濯室などは洗剤類が目につれないところ、手の届かないところで保管しています。個別に判断して、間違いやすいものや口の中に入れると危害があるものなどは保管するようにしています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	歩行器を忘れがちな人にはその都度声をかけたり、個別に対応しています。また、ヒヤリハットや事故報告書を記入して、ミーティングで話し合いを行い、再発防止に取り組んでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当や初期対応の訓練を実施しています。ミーティングで実技や講習も行っているが、全職員が身につけているとは言えない。実践を通して体調の変化に気づき、対応ができています。改めて訓練する機会を持つようにしていきます。		いつでも対応できるように訓練や研修を重ねていく必要がある。緊急時の対応を確認していく必要があります。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	中越沖地震時適切な対応、避難ができていた。避難方法、経路を確認しておく。避難訓練を行い、災害時にも声を掛け合いながら、行うことができます。		今回の経験を生かして、日頃から地域との関係を良好に保ち、協力体制を作っていく。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	御家族様と面会時や電話などで話はしているが、リスクの話についてはあまり触れていない。		細かいことについて話し合う時間を作っていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化に対して、気付きを職員間で話し合い、すばやく行動や対応ができています。日誌やケース記録に残し、申し送りでも送っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	通院介助で主治医に症状を伝え、薬の変更についても理解に努めています。ただし、目的や副作用までは把握できていない状況である。		皆が薬について知識を深めていきたい。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維の多い食材を料理に使用したり、乳製品を摂取できるようにしている。掃除やテレビ体操を行い、身体を動かすように取り組んでいます。		体操以外に身体を動かす機会が少ない。外出、体操、レクなどの働きかけをしていく。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの促しを行い、口腔機能の維持に取り組んでいます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の盛り付けには、個々にあった量を摂取したり、食事中や入浴後、夜間など御本人様が欲しい時に声をかけて水分補給を行っている。		柏崎市の栄養士に依頼して、栄養指導を行っていただきました。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出後の手洗い、うがいの支援、食前の手の消毒、テーブルの消毒やトイレ、台所も徹底して行われている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	消毒方法など統一した方法で行っている。食材の買出しも2日ごとに行い、必要以上に購入をしないように努めている。野菜なども火を通す工夫をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りや建物周辺をきれいにしています。玄関内には行事の写真を飾り、楽しんでいる雰囲気が伝わるようにしています。玄関に植木鉢を置き、利用者様が自由に水やりをして頂いている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある作品を飾って、空間を工夫しています。また、エアコンの風が直接肌に当たらないように布でカバーしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや畳に座って、利用者同士で一緒に過ごせるようにしています。畳スペースでは洗濯たたみをしながら、談話されたり、キーボードを弾かれたり、思い思いに過ごされています。		ソファに座りながら、ゆっくりとお茶が飲めるようにテーブルがあれば良いと思う。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れたものを持ち込んでもらい、好きなものを居室内に張るなど工夫をしています。また、室内に物干しを置いてご自分で干せる工夫をしています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝食前、皆様がホールにおられる時に居室の換気に努めています。西日が当たる居室にはすだれを利用して、気温の上昇に気をつけています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人での立ち上がりに不安がある場合でも、手摺りやイスを置くなど工夫をしています。ホールのトイレが3箇所あり、どこからも丁度良い距離になっている。		ホール内のスペースは広すぎず、自力歩行で浴室や玄関にも行くことができ、下肢筋力の維持ができるように支援している。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	目の高さに表札があり、ご自分の名前を確認できる。ご自分の書いた塗り絵などを目印にして、工夫している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑があり、草取りや収穫を楽しんでいます。物干し台を使用したり、外で座れるようにイスも用意しています。		外に出るときも障害が無く、自由に出入りできるので良いと思う。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

昔からのかかり付けの病院や美容院などに出掛けおり、本人の希望を取り入れながら、自宅や病院面会、散歩や温泉などの外出を行い、一人ひとりの人権を大切にしています。